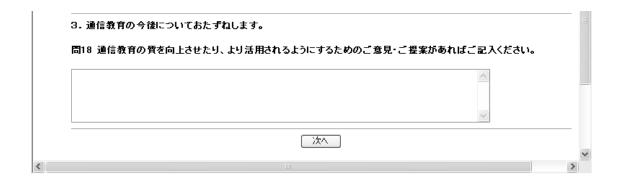
	講座数をお教えください。(1つだけ選択)	
○1.1講座		
○2.2講座		
○3.3講座		
○4.4講座		
○5.5~9講座		
○6.10~19講座		
○7.20~29講座		
○8.30講座以上		
間14 あなたが利用した通信教育の	平均費用(1講座あたり)をお教えください。(1つだけ選択)	
○1.1万円未満		
○2.1~2万円未満		
○3.2~3万円未満		
○4.3~4万円未満		
○5.4~5万円未満		
○6.5~6万円未満		
○7.6~7万円未満		
○8.7~10万円未満		
○9.10~20万円未満		
○10.20~30万円未満		
○11.30~50万円未満		
○12.50万円以上		
周15 あたたお利田」た通信教育の	平均利用時間(1誘座あたり)をお教えください。(1つだけ選択)	_
○1. 10時間未満	1 2013/10-31回(1番をめたり)との3次代(たといる(12)にり返す()	
○2.10~20時間未満		
○3.20~30時間未満		
○4.30~40時間未満		
○5.40~50時間未満		
○6.50~100時間未満		
○7.100~200時間未満		
○8.200~300時間未満		
○9.300時間以上		
────────────────────────────────────		_
	満足度をお教えください。(1つだけ選択)	
○1. 満足した		
○2. やや満足した		
○3. どちらともいえない		
○ 4. あまり満足しなかった		
○5. 満足しなかった 		
	次へ	

□11. 講座について積極的な広報をしている	ある 見直しが行われている 返しが行われている
同17 通信教育がより活用されるためには、どのようなことが重要だと思いますか。	
 間17 通信教育がより活用されるためには、どのようなことが重要だと思いますか。 通信教育の受講 12. 受講から修了認定までのスケジュールが明確である ☆ 受講料の適正性や妥当性が点検・検証されている ☆ 受講料に含まれる範囲が明確である ☆ 受講料の支払い回数や支払方法が明確である 	
 通信教育の受講 ■12. 受講から修了認定までのスケジュールが明確である ■13. 受講料の適正性や妥当性が点検・検証されている □14. 受講料に含まれる範囲が明確である □15. 受講料の支払い回数や支払方法が明確である 	
位2つまで選択)	
□16. 受講のキャンセルや返品の方法が明確である	
□17. 教育訓練給付制度など受講料の減免措置の条件が明確である	

としての取組(プロック内で上位)	通信教育事業者	□18. 通信教育の運営が専門の組織を設置している
コンカで土位 コンカー コン		
□ 21、 等日の知識・技能を評価している □ 21、 職員に対して講座実施に必要となる知識・技能を明確にし、習得を課している □ 22、 職員の知識・技能を評価している □ 23、 適信教育事業の運営実施を持つ・職員がいる □ 24、 受謝・おける手条等・閲覧する院・合わせ 窓口がある □ 24、 受謝・おける手条等・閲覧する院・合わせ 窓口がある □ 25、 責任体制が明確であり、また、複数の職員によるチェック体制がある □ 26、 安定して通信教育事業を行える財務状況である(全体収支等) □ 27、 財務整理・関して、定期的または適宜監査を受けている □ 30、 1年を超える財間を行っている (_	
□ 22. 鬱負の知識・技能を評価している □ 23. 遠信教育事業の遠宮業施を持つ範囲がいる □ 24. 契額に対ちる年後朝に関する隔い合わせ窓口がある □ 25. 責任体制が明確であり、また、複数の簡単によるチェック体制がある □ 26. 安定して適信教育事業を行える財務状況である(全体収支等) □ 27. 財務経理に関して、定期的または適宜監査を受けている (団体が、自ら行う通信教育事業について点検・評価することにより組織的・継続的な事業改善をつている (団体が、自ら行う通信教育事業について点検・評価することにより組織的・継続的な事業改善をつている (<u>つ</u> まで選択)	□20. 専任の学習指導者がいる
□ 23. 通信教育事業の運営実施を持つ職員がいる □ 24. 受講における手段等に関する問い合わせ窓口がある □ 25. 責任体制が明確であり、また、複数の審員によるチェック体制がある □ 26. 安定して通信教育事業を行える財務状況である(全体収支等) □ 27. 財務経理に関して、定期的または適宜監査を受けている □ 28. 外部経理に関して、定期的または適宜監査を受けている □ 29. 外部経過に関して、定期的または適宜監査を受けている □ 29. 外部経過に関しまり、対して、支援を関している □ 30. 1年を超える期間を対象とする事業計画を策定している □ 31. 実務を実践している場合、委託処工する要が明明確である □ 32. 適信教育に関する実務を行うために必要な専用の施設・設値が用意されている □ 33. 受債者がに起いる事務所の規模や添削のための施設・設値等) □ 33. 受債者を個人情報機関・関する方針やマニュアル等が整備されている □ 次へ □ 34. ブライバシーマーク※を取得している □ 35. 情報公開する項目や方法などが明確に定められている □ 36. 修了証が発行される □ 37. 使了者からの希望により修了証明書が発行される □ 38. 学校・企業・地域社会に対して修了者の活用を提案している □ 37. 後で者からの希望により修了証明書が発行される □ 38. 学校・企業・地域社会に対して修了者の活用を提案している □ 39. 穀幣のサポート等により、停了者の知路・技能の活用を促している □ 39. 穀幣のサポート等により、停了者の知路・技能の活用を促している □ 40. 表彰制度やコンクールにおいて成後患者が変まされる □ 41. 大学が行う(専門的な)通信教育を修了した者に対して、大学独自の資格が与えられる(履修認制度) □ 次へ □ 717 通信教育がより活用されるためには、どのようなことが重要だと思いますか。 □ 72. 後で表別を予算している □ 43. スクーリング(受講者が指導者と直接対面して行う検案)を受けることができる □ 44. 受講者が参加できる課外活動が、円息されている □ 43. スクーリング(受講者が指導者と直接対面して行う検案)を受けることができる □ 44. 受講者が参加できる課外活動が、中のできる □ 44. 受講者が参加できる課外活動が、円息されている □ 45. WEBIによる掲示板等を用いて、受講希望者・受講者・受講像で者等のネットワーク化が図られている □ 45. WEBIによる掲示板等を用いて、受講希望者・受講者・受講像で者等のネットワーク化が図られている □ 45. WEBIによる掲示板等を用いて、受講者を使用するであり、対理者を必要者を受講者・受講像で者等のネットワーク化が図られている □ 45. WEBIによる掲示板等を用いて、受講者を使用するでありが表も、受講者の表も、受講者の表も、受講者の表も、受講者の表も、受講者の表も、受講者の表も、受講者の表も、受講者の表も、受講者の表も、受講者の表も、受講者の表も、受講者の表も、受講者の表も、受講者の知識、対しないます。 □ 24. 受講者の表も、受講者を使用する、対しないます。 24. スクトリングできる 24. スク		□21. 職員に対して講座実施に必要となる知識・技能を明確にし、習得を課している
□ 24. 受調における手続等に関する問い合わせ窓口がある □ 25. 責任律制が明確であり、また、程敖の職員によるチェック体制がある □ 26. 安定して通信教育事業を行える財務状況である〈全体収支等〉 □ 27. 財務経理に関して、定期的または適宜監査を受けている 〈(団体が、自合行う通信教育事業)について点検・評価することにより組織的・継続的な事業改善を っている〉 □ 29. 外部評価を行っている 〈(評価の客観性、専門性、透明性を有した専門家等から事業の点検・評価を受けている〉 □ 30. 1年を超えも期間を対象とする事業計画を策定している □ 31. 業務を実起している場合、表託先に対する要件が明確である □ 32. 適信教育に関する素務を行うために必要な専用の施設・設備が用意されている 〈受講者助に応じた事務所の規模や部別のため施設・設備が用意されている 〈受講者がに応じた事務所の規模や活動の大力を指したの心施設・設備が用意されている ○ 33. 受講者の個人情報保御に関する方針やマニュアル等が整備されている ○ 34. ブライバシーマーク※を取得している。 ○ 35. 情報公開する項目や方法などが明確に定められている ○ 36. 修了証が発行される ② 37. 修了者からの希望により修了者の適勝と推案している ○ 38. 学校・企業・地域社会に対して修了者の活用を提案している ○ 39. 技能のサポート等により、修了者の過勝・技能の活用を促している ○ 39. 教育のサポート等により、修了者の過勝・技能の活用を促している ○ 39. 教育のサポート等により、修了者の過勝・技能の活用を促している ○ 39. 教育のサポート等により、修了者の過勝・技能の活用を促している ○ 34. 大学が行う(専門的な)通信教育を修了した者に対して、大学性自の資格が与えられる〈履修認制度〉 ○ 次へ ○ 37. 通信教育がより活用されるためには、どのようなことが重要だと思いますか。		□22. 職員の知識・技能を評価している
25. 責任体制が明確であり、また、複数の職員によるチェック体制がある		□23. 通信教育事業の運営実績を持つ職員がいる
25. 責任体制が明確であり、また、複数の職員によるチェック体制がある		□24. 受講における手続等に関する問い合わせ窓口がある
26. 安定して適信教育事業を行える財務状況である(全体収支等)		
27. 財務経理に関して、定期的または適宜監査を受けている 28. 自己評価を行っている 29. 自己評価を行っている 30. 日本を超える期間を対象とする事業も画を集定している 30. 日本を超える期間を対象とする事業も画を集定している 31. 業務を委託している場合、委託先に対する要件が明確である 32. 適信教育に関する実務を行うために必要な専用か越設・設備が用意されている 公園・日本を超える期間を対象とする事業も画を集定している 31. 業務を委託している場合、委託先に対する要件が明確である 32. 適信教育の個人情報保護に関する方針やマニュアル等が整備されている 公園・ブライバシーマーク※を取得している ※事業者が個人情報の取扱いを通知に行う体制等を整備していることの認定の証 36. 修可証が発行される 37. 修了者からの希望により修可証明書が発行される 37. 修了者からの希望により修可証明書が発行される 38. 修可証が発行される 39. 就職のサポート第により、修了者の知識・技能の活用を促生でいる 39. 就職のサポート第により、修了者の知識・技能の活用を促している 40. 表彰制度やコンクールにおいて成績優秀者が発表される 41. 大学が行う(専門的な)適信教育を修了した者に対して、大学独自の資格が与えられる(履修認制度) 42. 継続的な学習の参考とするため、受講者の知識・技能レベル(全受講者と比較した上でのレベル制度) 42. 継続的な学習の参考とするため、受講者の知識・技能レベル(全受講者と比較した上でのレベル制度) 42. 継続的な学習の参考とするため、受講者の知識・技能レベル(全受講者と比較した上でのレベル制度) 42. 継続的な学習の参考とするため、受講者の知識・技能レベル(全受講者と比較した上でのレベルリ、受講者が参加できる課外活動がサークル活動)が用意されている 43. スクーリングで受講者が指導者と直接対面して行う授業)を受けることができる 44. 受講者が参加できる課外活動、サークル活動が用意されている 45. WEBIによる掲示板等を用いて、受講希望者・受講修了者等のネットワーク化が図られている		
28. 自己評価を行っている		
(団体が、自ら行う通信教育事業について点検・評価することにより組織的・継続的な事業改善者っている) 29		
29. 外部評価を行っている		(団体が、自ら行う通信教育事業について点検・評価することにより組織的・維続的な事業改善を
(評価の客観性、専門性、透明性を有した専門家等から事業の点検・評価を受けている) 30. 1年を超える期間を対象とする事業計画を策定している 31. 業務を素託している場合、委託先に対する要体件が明確である 32. 適信教育に関する実務を行うために必要な専用の施設・設備等) 33. 受講者の個人情報保護に関する方針やマニュアル等が整備されている (受講者数に応じた事務所の規模や添削のための施設・設備等) 34. ブライパシーマーク※を取得している ※事業者が個人情報の取扱いを適切に行う体制等を整備していることの認定の証 35. 情報公開する項目や方法などが明確に定められている 次へ (プロック内で1つまで選択) 36. 修了証が発行される 37. 修了者からの希望により修了証明書が発行される 38. 学習成果の活用 (プロック内で1つまで選択) 38. 総のサボート等により、修了者の知識・技能の活用を提定している 39. 就職のサボート等により、修了者の知識・技能の活用を促している 40. 表彰制度やコンクールにおいて成績優秀者が発表される 41. 大学が行う(専門的な)適信教育を修了した者に対して、大学独自の資格が与えられる(履修認制度) (プロック内で1 まで選択) 37. 通信教育がより活用されるためには、どのようなことが重要だと思いますか。 学習継続への取		
□ 30. 1年を超える期間を対象とする事業計画を策定している □ 31. 業務を委託している場合、委託先に対する要件が明確である □ 32. 通信教育に関する業務を行うために必要な専用の施設・設備が用意されている (受膳者助に応じた事務所の規模や添削のための施設・設備等) □ 33. 受講者の個人情報の取扱いを通知に行う体制等を整備していることの認定の証 □ 34. ブライバシーマーク※を取得している ※事業者が個人情報の取扱いを通知に行う体制等を整備していることの認定の証 □ 35. 情報公開する項目や方法などが明確に定められている □ 36. 修了証が発行される □ 37. 修了者からの希望により修了証明書が発行される □ 38. 学校・企業・地域社会に対して修了者の活用を提案している □ 39. 就職のサポート第により、修了者の知識・技能の活用を促している □ 40. 表彰制度やコンクールにおいて成績優秀者が発表される □ 41. 大学が行う(専門的な)通信教育を修了した者に対して、大学独自の資格が与えられる(履修認制度) □ 次へ □ 37. 修了者がらの事望により、修了者の知識・技能の活用を促している □ 41. 大学が行う(専門的な)通信教育を修了した者に対して、大学独自の資格が与えられる(履修認制度) □ 36. 修了証がを習の参考とするため、受講者の知識・技能レベル(全受講者と比較した上でのレベル報(ブロック内で1) □ 42. 継続的な学習の参考とするため、受講者の知識・技能レベル(全受講者と比較した上でのレベル報(ブロック内で1) □ 43. スクーリング(受講者が指導者と直接対面して行う授業)を受けることができる □ 44. 受講者が参加できる課外活動(サークル活動)が用意されている □ 45. WEBによる掲示板等を用いて、受講者望者・受講者・受講者・受講者で著等のネットワーク化が図られている		l
31. 業務を委託している場合、委託先に対する要件が明確である		
32. 通信教育に関する業務を行うために必要な専用の施設・設備が用意されている (受講者 数に応じた 事務所の規模や活削のための施設・設備等) 33. 受講者の個人情報保護に関す方針やマニュアル等が整備されている 34. ブライバシーマーク※を取得している ※事業者が個人情報の取扱いを通知に行う体制等を整備していることの認定の証 35. 情報公開する項目や方法などが明確に定められている 次へ 次へ 次へ 次へ 次へ 次へ 次へ 次へ		
33. 受講者の個人情報保護に関する方針やマニュアル等が整備されている 34. ブライバシーマーク※を取得している ※事業者が個人情報の取扱いを適切に行う体制等を整備していることの認定の証 35. 情報公開する項目や方法などが明確に定められている 次へ 次へ 次へ 次へ 次へ 次へ 次へ 次		□32. 通信教育に関する業務を行うために必要な専用の施設・設備が用意されている
34. ブライバシーマーク※を取得している ※事業者が個人情報の取扱いを適切に行う体制等を整備していることの認定の証 35. 情報公開する項目や方法などが明確に定められている 次へ 次へ 次へ 次へ 次へ 次へ 次へ 次へ		
※事業者が個人情報の取扱いを適切に行う体制等を整備していることの認定の証 36. 情報公開する項目や方法などが明確に定められている		
35. 情報公開する項目や方法などが明確に定められている		
次へ		
36. 修了証が発行される 36. 修了証が発行される 37. 修了者からの希望により修了証明書が発行される 37. 修了者からの希望により修了証明書が発行される 38. 学校・企業・地域社会に対して修了者の活用を提案している 39. 就職のサポート等により、修了者の知識・技能の活用を促している 40. 表彰制度やコンクールにおいて成績優秀者が発表される 41. 大学が行う(専門的な)通信教育を修了した者に対して、大学独自の資格が与えられる(履修認制度) 次へ 次へ 42. 継続的な学習の参考とするため、受講者の知識・技能レベル(全受講者と比較した上でのレベル等)の情報提供を受けることができる 43. スクーリング(受講者が指導者と直接対面して行う授業)を受けることができる 44. 受講者が参加できる課外活動が日海されている 45. WEBIによる掲示板等を用いて、受講希望者・受講者・受講修了者等のネットワーク化が図られている 45. WEBIによる掲示板等を用いて、受講希望者・受講者・受講修了者等のネットワーク化が図られている 45. WEBIによる掲示板等を用いて、受講希望者・受講者・受講修了者等のネットワーク化が図られている 45. WEBIによる掲示板等を用いて、受講希望者・受講者・受講修了者等のネットワーク化が図られている 46. WEBIによる掲示板等を用いて、受講希望者・受講者・受講者・受講像でする 46. WEBIによる掲示板等を用いて、受講希望者・受講者・受講者・受講像でする 46. WEBIによる掲示板等を用いて、受講者望者・受講者・受講者・受講者・受講者・受講者・受講者・受講者・受講者・受講者・受講		\frac{1}{1}
36. 修了証が発行される 37. 修了者からの希望により修了証明書が発行される 37. 修了者からの希望により修了証明書が発行される 38. 学校・企業・地域社会に対して修了者の活用を提案している 39. 就職のサポート等により、修了者の知識・技能の活用を促している 40. 表彰制度やコンクールにおいて成績優秀者が発表される 41. 大学が行う(専門的な)通信教育を修了した者に対して、大学独自の資格が与えられる(履修認制度) 次へ 242. 継続的な学習の参考とするため、受講者の知識・技能レベル(全受講者と比較した上でのレベル銀(ブロック内で1 つまで選択) 43. スクーリング(受講者が指導者と直接対面して行う授業)を受けることができる 44. 受講者が参加できる課外活動(サークル活動)が用意されている 45. WEBIこよる掲示板等を用いて、受講希望者・受講修了者等のネットワーク化が図られている 45. WEBIこよる掲示板等を用いて、受講希望者・受講修了者等のネットワーク化が図られている 45. WEBIこよる掲示板等を用いて、受講希望者・受講修了者等のネットワーク化が図られている 45. WEBIこよる掲示板等を用いて、受講希望者・受講修了者等のネットワーク化が図られている 45. WEBIこよる掲示板等を用いて、受講希望者・受講修了者等のネットワーク化が図られている 46. WEBIこよる掲示板等を用いて、受講者を関する 46. WEBIこよる掲示板等を用いて、受講者を関する 46. WEBIこよる掲示板等を用いて、受講者を関する 46. WEBIこよる掲示板等を用いて、受講像を開発する 46. WEBIこよる掲示板等を用いて、受講権を関する 46. WEBIこよる掲示板等を用いて、受講権を関する 46. WEBIこよる掲示板等を用いて、受講権を関する 46. WEBIこよる 46. WEBIことなる		
学習成果の活用 促進への取組 (ブロック内で1つまで選択) □36. 修了証が発行される □37. 修了者からの希望により修了証明書が発行される □38. 学校・企業・地域社会に対して修了者の活用を提案している □39. 就職のサポート等により、修了者の知識・技能の活用を促している □40. 表彰制度やコンクールにおいて成績優秀者が発表される □41. 大学が行う(専門的な)通信教育を修了した者に対して、大学独自の資格が与えられる(履修認制度)		
(プロック内で1つまで選択) □ 37. 修了者からの希望により修了証明書が発行される □ 38. 学校・企業・地域社会に対して修了者の活用を提案している □ 39. 就職のサポート等により、修了者の知識・技能の活用を促している □ 40. 表彰制度やコンクールにおいて成績優秀者が発表される □ 41. 大学が行う(専門的な)通信教育を修了した者に対して、大学独自の資格が与えられる(履修認制度) 次へ 次へ □ 317 通信教育がより活用されるためには、どのようなことが重要だと思いますか。 □ 42. 継続的な学習の参考とするため、受講者の知識・技能レベル(全受講者と比較した上でのレベル等)の情報提供を受けることができる □ 43. スクーリング(受講者が指導者と直接対面して行う授業)を受けることができる □ 44. 受講者が参加できる課外活動(サークル活動)が用意されている □ 45. WEBによる掲示板等を用いて、受講希望者・受講者・受講者・受講修了者等のネットワーク化が図られている □ 45. WEBによる掲示板等を用いて、受講希望者・受講者・受講修了者等のネットワーク化が図られている □ 45. WEBによる掲示板等を用いて、受講希望者・受講者・受講修了者等のネットワーク化が図られている □ 45. WEBによる掲示板等を用いて、受講希望者・受講者・受講修了者等のネットワーク化が図られている □ 45. WEBによる掲示板等を用いて、受講希望者・受講者・受講修了者等のネットワーク化が図られている □ 45. WEBによる掲示板等を用いて、受講希望者・受講者・受講像でする □ 44. 受講者が参加できる課外活動(サークル活動)が用意されている □ 45. WEBによる掲示板等を用いて、受講希望者・受講者・受講像でする □ 44. 受講者が参加できる課金を用いて、受講者・受講者・受講者・受講像でするのネットワーク化が図られている □ 45. WEBによる掲示板等を用いて、受講希望者・受講者・受講者・受講像でする □ 45. WEBにより修了報報を発展している □ 45. WEBにより修了報報を発展する □ 45. WEBにより修了報報を発展している □ 45. WEBにより修了報報を発展している □ 45. WEBにより修了者の知識・技能の活用を提供といる □ 45. WEBにより修了者の知識・技能の活用を促促している □ 45. WEBにより修了者の知識・技能の活用を促促していまする □ 45. WEBにより修了者の知識・技能の活用を発見している □ 45. WEBにより修了者の知識・技能の活用を使用している □ 45. WEBにより修了者が表情では、 45. WEBによりを表情では、 45. WEBによりをは、 45. WEBによりを表情では、 45. WEBによりを表情では、 45. WEBによりを表情では、 45. WEBにより修了者がよりには、 45. WEBによりを表情では、 45. W	司17 通信教育が	より活用されるためには、どのようなことが重要だと思いますか。
(プロック内で1つまで選択) □ 37. 修了者からの希望により修了証明書が発行される □ 38. 学校・企業・地域社会に対して修了者の活用を提案している □ 39. 就職のサポート等により、修了者の知識・技能の活用を促している □ 40. 表彰制度やコンクールにおいて成績優秀者が発表される □ 41. 大学が行う(専門的な)通信教育を修了した者に対して、大学独自の資格が与えられる(履修認制度) 次へ 次へ 次へ ※ 1 (本語 ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** **		
38. 字校・企業・地域社会に対して修了者の活用を提案している 39. 就職のサポート等により、修了者の知識・技能の活用を促している 40. 表彰制度やコンクールにおいて成績優秀者が発表される 41. 大学が行う(専門的な)通信教育を修了した者に対して、大学独自の資格が与えられる(履修認制度)	学習成果の活用	□36. 修了証が発行される
□ 39. 就職のサポート等により、修了者の知識・技能の活用を促している □ 40. 表彰制度やコンクールにおいて成績優秀者が発表される □ 41. 大学が行う(専門的な)通信教育を修了した者に対して、大学独自の資格が与えられる(履修認制度) 次へ 次へ 次へ 次へ 次へ 次へ 次へ 次	促進への取組	
□ 41. 大学が行う(専門的な)通信教育を修了した者に対して、大学独自の資格が与えられる(履修認制度) 次へ 次へ 次へ 次へ 次へ 次へ 次へ 次	促進への取組 (ブロック内で <u>1つ</u>	□37. 修了者からの希望により修了証明書が発行される
加度) 次へ 次へ 次へ 次へ 次へ 次へ 次へ 次	促進への取組 (ブロック内で <u>1つ</u>	□37. 修了者からの希望により修了証明書が発行される □38. 学校・企業・地域社会に対して修了者の活用を提案している
次へ 次へ 次へ 次へ 次へ 次へ 317 通信教育がより活用されるためには、どのようなことが重要だと思いますか。 全2. 維続的な学習の参考とするため、受講者の知識・技能レベル(全受講者と比較した上でのレベル等)の情報提供を受けることができる 43. スクーリング(受講者が指導者と直接対面して行う授業)を受けることができる 44. 受講者が参加できる課外活動(サークル活動)が用意されている 45. WEBによる掲示板等を用いて、受講希望者・受講者・受講者・受講修了者等のネットワーク化が図られている	促進への取組 (ブロック内で <u>1つ</u>	□37. 修了者からの希望により修了証明書が発行される □38. 学校・企業・地域社会に対して修了者の活用を提案している □39. 就職のサポート等により、修了者の知識・技能の活用を促している
317 通信教育がより活用されるためには、どのようなことが重要だと思いますか。 学習継続への取 (プロック内で1 字)の情報提供を受けることができる □ 43. スクーリング(受講者が指導者と直接対面して行う授業)を受けることができる □ 44. 受講者が参加できる課外活動(サークル活動)が用意されている □ 45. WEBによる掲示板等を用いて、受講希望者・受講者・受講修了者等のネットワーク化が図られている	促進への取組 (ブロック内で <u>1つ</u>	□37. 修了者からの希望により修了証明書が発行される □38. 学校・企業・地域社会に対して修了者の活用を提案している □39. 就職のサポート等により、修了者の知識・技能の活用を促している □40. 表彰制度やコンクールにおいて成績優秀者が発表される
学習継続への取	促進への取組 (ブロック内で <u>1つ</u>	□37. 修了者からの希望により修了証明書が発行される □38. 学校・企業・地域社会に対して修了者の活用を提案している □39. 就職のサポート等により、修了者の知識・技能の活用を促している □40. 表彰制度やコンクールにおいて成績優秀者が発表される □41. 大学が行う〈専門的な〉通信教育を修了した者に対して、大学独自の資格が与えられる〈履修認
学習継続への取	促進への取組 (ブロック内で <u>1つ</u>	□37. 修了者からの希望により修了証明書が発行される □38. 学校・企業・地域社会に対して修了者の活用を提案している □39. 就職のサポート等により、修了者の知識・技能の活用を促している □40. 表彰制度やコンクールにおいて成績優秀者が発表される □41. 大学が行う(専門的な)通信教育を修了した者に対して、大学独自の資格が与えられる(履修認制度)
 細(ブロック内で1 等)の情報提供を受けることができる □ 43. スクーリング(受講者が指導者と直接対面して行う授業)を受けることができる □ 44. 受講者が参加できる課外活動(サークル活動)が用意されている □ 45. WEBIこよる掲示板等を用いて、受講希望者・受講者・受講修了者等のネットワーク化が図られている 	促進への取組 (ブロック内で <u>1つ</u>	□37. 修了者からの希望により修了証明書が発行される □38. 学校・企業・地域社会に対して修了者の活用を提案している □39. 就職のサポート等により、修了者の知識・技能の活用を促している □40. 表彰制度やコンクールにおいて成績優秀者が発表される □41. 大学が行う(専門的な)通信教育を修了した者に対して、大学独自の資格が与えられる(履修認制度)
 細(ブロック内で1 等)の情報提供を受けることができる □ 43. スクーリング(受講者が指導者と直接対面して行う授業)を受けることができる □ 44. 受講者が参加できる課外活動(サークル活動)が用意されている □ 45. WEBIこよる掲示板等を用いて、受講希望者・受講者・受講修了者等のネットワーク化が図られている 	促進への取組 (ブロック内で <u>1つ</u> まで選択)	□37. 修了者からの希望により修了証明書が発行される □38. 学校・企業・地域社会に対して修了者の活用を提案している □39. 就職のサポート等により、修了者の知識・技能の活用を促している □40. 表彰制度やコンクールにおいて成績優秀者が発表される □41. 大学が行う(専門的な)通信教育を修了した者に対して、大学独自の資格が与えられる(履修認制度)
□43. スクーリング(受講者が指導者と直接対面して行う授業)を受けることができる □44. 受講者が参加できる課外活動(サークル活動)が用意されている □45. WEBIこよる掲示板等を用いて、受講希望者・受講者・受講修了者等のネットワーク化が図られている	促進への取組 (ブロック内で <u>1つ</u> まで選択) 317 通信教育が	□37. 修了者からの希望により修了証明書が発行される □38. 学校・企業・地域社会に対して修了者の活用を提案している □39. 就職のサポート等により、修了者の知識・技能の活用を促している □40. 表彰制度やコンクールにおいて成績優秀者が発表される □41. 大学が行う(専門的な)通信教育を修了した者に対して、大学独自の資格が与えられる(履修認制度) □ 次へ □ 以入
□ 44. 受講者が参加できる課外活動(サークル活動)が用意されている □ 45. WEBIによる掲示板等を用いて、受講希望者・受講者・受講修了者等のネットワーク化が図られている	保進への取組 (ブロック内で <u>1つ</u> まで選択) 317 通信教育が 学習継続への取	□37. 修了者からの希望により修了証明書が発行される □38. 学校・企業・地域社会に対して修了者の活用を提案している □39. 就職のサポート等により、修了者の知識・技能の活用を促している □40. 表彰制度やコンクールにおいて成績優秀者が発表される □41. 大学が行う(専門的な)通信教育を修了した者に対して、大学独自の資格が与えられる(履修認制度) 次へ より活用されるためには、どのようなことが重要だと思いますか。 □42. 維続的な学習の参考とするため、受講者の知識・技能レベル(全受講者と比較した上でのレベル
□ 45. WEBIによる掲示板等を用いて、受講希望者・受講者・受講修了者等のネットワーク化が図られている	 促進への取組 (ブロック内で1つ) まで選択) 高17 通信教育が 学習継続への取組 (ブロック内で1 	□37. 修了者からの希望により修了証明書が発行される □38. 学校・企業・地域社会に対して修了者の活用を提案している □39. 就職のサポート等により、修了者の知識・技能の活用を促している □40. 表彰制度やコンクールにおいて成績優秀者が発表される □41. 大学が行う(専門的な)通信教育を修了した者に対して、大学独自の資格が与えられる(履修認制度) 広へ より活用されるためには、どのようなことが重要だと思いますか。 □42. 継続的な学習の参考とするため、受講者の知識・技能レベル(全受講者と比較した上でのレベル等)の情報提供を受けることができる
l 13	 促進への取組 (ブロック内で1つ) まで選択) 高17 通信教育が 学習継続への取組 (ブロック内で1 	□37. 修了者からの希望により修了証明書が発行される □38. 学校・企業・地域社会に対して修了者の活用を提案している □39. 就職のサポート等により、修了者の知識・技能の活用を促している □40. 表彰制度やコンクールにおいて成績優秀者が発表される □41. 大学が行う(専門的な)通信教育を修了した者に対して、大学独自の資格が与えられる(履修認制度) 次へ
\hat{\pi_{\sigma}}	 促進への取組 (ブロック内で1つ) まで選択) 高17 通信教育が 学習継続への取組 (ブロック内で1 	□ 37. 修了者からの希望により修了証明書が発行される □ 38. 学校・企業・地域社会に対して修了者の活用を提案している □ 39. 就職のサポート等により、修了者の知識・技能の活用を促している □ 40. 表彰制度やコンクールにおいて成績優秀者が発表される □ 41. 大学が行う(専門的な)通信教育を修了した者に対して、大学独自の資格が与えられる(履修認制度)
	 促進への取組 (ブロック内で1つ) まで選択) 高17 通信教育が 学習継続への取組 (ブロック内で1 	□ 37. 修了者からの希望により修了証明書が発行される □ 38. 学校・企業・地域社会に対して修了者の活用を提案している □ 39. 就職のサポート等により、修了者の知識・技能の活用を促している □ 40. 表彰制度やコンクールにおいて成績優秀者が発表される □ 41. 大学が行う(専門的な)通信教育を修了した者に対して、大学独自の資格が与えられる(履修認制度)
	促進への取組 (ブロック内で <u>1つ</u> まで選択) 317 通信教育が 学習継続への取 組(ブロック内で1	□37. 修了者からの希望により修了証明書が発行される □38. 学校・企業・地域社会に対して修了者の活用を提案している □39. 就職のサポート等により、修了者の知識・技能の活用を促している □40. 表彰制度やコンクールにおいて成績優秀者が発表される □41. 大学が行う(専門的な)通信教育を修了した者に対して、大学独自の資格が与えられる(履修認制度) 「次へ より活用されるためには、どのようなことが重要だと思いますか。 □42. 維続的な学習の参考とするため、受講者の知識・技能レベル(全受講者と比較した上でのレベル等)の情報提供を受けることができる □43. スクーリング(受講者が指導者と直接対面して行う授業)を受けることができる □44. 受講者が参加できる課外活動(サークル活動)が用意されている □45. WEBによる掲示板等を用いて、受講希望者・受講修了者等のネットワーク化が図られて
	促進への取組 (ブロック内で <u>1つ</u> まで選択) 317 通信教育が 学習継続への取 組(ブロック内で1	□37. 修了者からの希望により修了証明書が発行される □38. 学校・企業・地域社会に対して修了者の活用を提案している □39. 就職のサポート等により、修了者の知識・技能の活用を促している □40. 表彰制度やコンクールにおいて成績優秀者が発表される □41. 大学が行う(専門的な)通信教育を修了した者に対して、大学独自の資格が与えられる(履修認制度)



<文部科学省 社会通信教育に関する調査研究>

企業における従業員向け 通信教育に関する調査

ご協力のお願い

平素より文部科学行政へのご理解とご協力をいただき誠にありがとうございます。

このアンケートは、主として東証1部・2部・マザーズの上場企業を対象に、企業の人事部門等が研修等の目的で、社員を対象に行う通信教育(eラーニング含む)の実態等を把握するために実施するもので、調査の実施・集計・分析を、(株)日本能率協会総合研究所に委託しております。

お寄せいただいたご回答・ご意見は、今後の生涯学習施策を推進するにあたっての基礎資料として活用させていただきたいと存じます。ご多忙のことと存じますが、調査の主旨にご理解を賜り、ご協力いただきますようよろしくお願いいたします。

平成23年2月

文部科学省 生涯学習政策局

【ご記入にあたってのお願い】

1 記入の方法

アンケートの回答は、この調査票に直接ご記入ください。 筆記用具は、鉛筆・ボールペンなどでお願いします。

2 アンケート回答者(記入者)

教育研修全般または通信教育の企画や管理を担当されている 責任者の方が、ご回答(記入)ください。

3 返送の方法

同封の返信用封筒(切手不要)に、ご記入いただいた調査票を入れて、 平成23年3月7日(月)までに投函してください。

4 返送いただいた回答について

本調査の回答は統計学的な処理をしますので、個人(所属組織)としての回答が公になることはありません。回答結果は、文部科学省が行う調査研究と今後の方策の検討のためにのみ使用し、その他の用途に用いることはありません。

5 本調査に関する問合せ先

調査に関する疑問点がございましたら、下記までお問い合わせください。 (株)日本能率協会総合研究所 組織・人材戦略研究部 櫻木(サクラギ)・譲原(ユズリハラ) TEL:03-3578-7633 E-mail:HRM_Research1@mar.co.jp

●調査にご協力いただいた方は

	→ r	·回答者	役職:
貴社名		C凹音相	お名前:
貝拉石	>	連絡先	e-mail:
	ات ا	建榴九	TEL:

※企業名やご記入者名は、調査票回収後の管理上の目的にのみ用います。回答者個人が公になることは ございませんので、ご記入をお願いします。

1

1. 通信教育の利用状況についてお尋ねします。

四1	書外が仕	ーカナボ	사물차(計算)	- 海信教育太利田	したことはあります	かっ(へけつ)
ш	百代 じは、	これまじょ	作目を別表!	二用信教育を利用	しにことはのります	か?しいは「フ)

- 利用したことがある
 利用したことはない(今後利用する計画がある)
- ⇒問4へ 3. 利用したことはない(今後利用する計画はない) ⇒問9へ

問2 貴社で採用されている通信教育は以下のいずれですか。(〇は1つ)

- 1. eラーニングのみ →問3へ 1. ピノーニングのみ 2. 通信教育(紙)のみ 3. eラーニングと通信教育(紙)の併用
 - SQ2-1 この1年において、通信教育のうち、「紙」の利用割合はどの程度ですか。 延べ受講者数の割合でお答えください。(〇は1つ)
- 5. 80%以上

)

- 1. 20%未満 2. 20~40%未満
- 3. 40~60%未満 4. 60~80%未満
- 問3 貴社で、採用されている通信教育の分野をお答えください。(Oはいくつでも)
 - コンピュータ・情報処理
 語学・コミュニケーション
 経営・労務管理 4. 財務・金融 5. 司法・法務6. オフィス事務7. 生活・消費活動

8. 美容・ファッション 9. デザイン・インテリア

10. 教育・学術

11. 保育・指導 12. 栄養・調理

- 13. 飲食・フードサービス 14. 福祉・健康 15. 医療・衛生
- 16. 不動産・建築・施工
- 17. 鉱業・設備・溶接 18. 電気・通信
- 19. 安全管理·危険物取扱 20. 自然・環境 21. 車両・航空・船舶
- 22. 趣味・教養
- 22. ルル・ か.マ 23. スポーツ 24. ボランティア養成
- 25. その他(

問4「認定社会通信教育※」について、ご存じですか。(Oは1つ) (※学校法人または公益法人が行う社会通信教育で、社会教育法に基づき、文部科学省によって認定された通信教育)

- 社内の通信教育で利用している
 知っているが、利用したことはない
- 3. 知らない
- 問5「認定社会通信教育」は、下記のような特徴がありますが、社内の通信教育として利用してみたいと思いますか。(〇は1つ)
 - ・教材の内容、指導方法、講師陣、経営内容などについて、国の審査に合格した信頼できる講座である
 - ·安価な郵便料金が適用される ·優秀な成績で修了した場合、文部科学大臣賞が授与される
 - 1. 利用したい
 - 2. 講座内容によっては、利用したい
- →問6へ
- 3. 特に利用したいとは思わない
 - → SQ5-1 それはなぜですか。下欄に理由を自由にお書きください。

- ※ これまで、社員を対象に通信教育を利用したことがある企業の方 ⇒ 問6 へお進みください。 (問1で「1」と回答された方)
- ※ これまで、社員を対象に通信教育を利用したことがない企業の方 ⇒ 問9 へお進みください。 (問1で「2」と回答された方)

問6 貴社が、通信教育を利用した主な目的は何ですか。(Oはいくつでも)

- 1. 社員の職業能力開発のため 4. 社員の自己啓発のため 2. 資格の取得支援や補助のため 5. 社員の社会活動の支援のため 3. 人事処遇や昇進・昇格時の判断材料として用いるため 6. その他 (
- 問7 貴社は、通信教育の情報をどのように入手していますか。(Oはいくつでも)

 - テレビCMや新聞記事等
 本・雑誌
 インターネットの通信教育紹介サイト
 通信教育事業者のホームページ
- 5. 通信教育事業者の講座案内ガイド・冊子 6. 通信教育事業者の担当者からの情報提供や提案 7. その他(

問8 社員が受講する通信教育の金銭的援助について該当するものをお答えください。

(Oはいくつでも)

- 全額会社負担
 一部会社負担(会社負担の方が多い)
- 一部会社負担(受講者負担の方が多い)
 会社の補助なし ⇒問9へ

SQ8-1 会社負担に当たって、講座の修了を条件としていますか

1. している 2. していない

2. 通信教育の活用についてお尋ねします。

問9 通信教育が企業において研修等に活用されるためには、どのようなことが重要だと思いますか。

マニカカカカ		
通信教育の内 容・学習課程	1.	通信教育のコンセプトを明確にしている
への取組	2.	受講することで習得できる知識・技能を明確にしている
	3.	教育計画※を策定している
プロック内		※通信指導の実施回数や修了試験の要否等を定めたもの
でOは上位 <u>3</u> つまで)	4.	修了までの標準的な修業期間や修了認定基準を明確にしている
2000/	5.	添削、質問受付等によって受講者の学習をサポートする体制を有している
	6.	学習者のニーズを調査・分析している
	7.	講座を実施することで得られたデータ等に基づき講座内容を見直している
	8.	制度改正、社会情勢、企業ニーズ等を踏まえ、教材の見直しを行っている
	9.	障がい者が受講する際に一定の配慮を行っている
	10.	公的機関から認定や後援を受けている
	11.	講座について積極的な広報がなされている
通信教育の受	12.	受講から修了認定までのスケジュールを明確にしている
講手続きでの	13.	受講料の適正性や妥当性を点検・検証している
取組	14.	受講料に含まれる範囲を明確にしている
(プロック内	15.	受講料の支払い回数や支払方法を明確にしている
でのは上位2	16.	受講のキャンセルや返品の方法を明確にしている
<u>つ</u> まで)	17.	教育訓練給付制度など受講料の減免措置の条件を明確にしている
通信教育事業	18.	通信教育運営に特化した組織を設置している
者としての取	19.	教務責任者(教材の改善の企画、学習指導の円滑な運営その他の学習指導に関する事務を行う者)を
利		配置している
(プロック内	20.	専任の学習指導者を配置している
で0は上位3		職員に対して講座実施に必要となる知識・技能を明確にし、習得を課している
<u>つ</u> まで)	22.	職員の知識・技能を評価している
	_	通信教育事業の運営実績を有する職員を配置している
	_	受講における手続等に関する問い合わせ窓口を設置している
	_	責任体制が明確であり、また、複数の職員によるチェック体制を有している
		安定して通信教育事業を行える財務状況である(全体収支等)
	27.	財務経理に関して、定期的または適宜監査を受けている
		自己評価を行っている
		(団体が、自ら行う通信教育事業について点検・評価することにより組織的・継続的な事業改善を
		行っている)
	29.	外部評価を行っている
		(評価の客観性、専門性、透明性を有した専門家等から事業の点検・評価を受けている)
	30.	
	31.	業務を委託している場合、委託先に対する要件を明確にしている
		通信教育に関する業務を行うために必要な専用の施設・設備を保有している
		(受講者数に応じた事務所の規模や添削のための施設・設備等)
	33	受講者の個人情報保護に関する方針やマニュアル等を整備している
	_	プライバシーマークを取得している
	35.	情報公開する項目や方法などを明確に定めている
学習成果の活	36.	修了証を発行している
用促進への取	37.	修了者からの要望に応じて修了証明書を発行している
組 (プロックロ	38.	学校・企業・地域社会に対して修了者の活用を提案している
(ブロック内 でOは <u>1つ</u> ま	_	就職のサポート等により、修了者の知識・技能の活用を促している
で)	40.	表彰制度やコンクールにおいて成績優秀者を発表している
	41.	大学が行う(専門的な)通信教育を修了した者に対して、大学独自の資格を与える(履修認証制度)
学習継続への	_	
取組	۲۷.	情報提供を行っている
(プロック内	12	スクーリング(受講者が指導者と直接対面して行う授業)を行っている
で0は <u>1つ</u> ま で)	_	スシーリング (支請有が指導有と直接対回して打つ投票) を打っている 受請者が参加する課外活動 (サークル活動) を行っている
	44.	WEBによる掲示板等を用いて、受講希望者・受講者・受講修了者等のネットワーク化を図っている
	Į 4 υ.	WEDによる物が数字を用いて、文語布置有・文語有・文語修士有字の不ツトソーン化を図っている

進を進めるためのご意		

⇒次頁へ続きます

3. 貴社の企業概要についてお尋ねします。

(1)連結・単独 ※「社員教育」という観点からお答えになりやすい方を選び、それについて以下の各設問をお答えください。

1. 連結 2. 単独	1.	連結	2.	単独
-------------	----	----	----	----

(2) 業種(〇は1つ)

1. 2. 3.	建設業 製造業 情報通信業	6.	不動産業	10. 11.	医療・福祉 教育・学習支援業 サービンギ	`
4.	運輸業	8.	飲食店・宿泊業	12.	その他()

(3) 総従業員数

1. 1~19人 2. 20~99人 3. 100~299人 6. 5,000~9,999人	7. 10,000人以上
---	--------------

(4) 海外での事業展開

- 展開しており、今後も事業規模拡大予定
 展開しており、今後は現状維持
 展開しているが、今後は事業規模縮小・撤退予定
 展開していないが、現在検討中
- 5. 展開予定はない

(5) 前年度と比較した当該年度の教育予算

1. 増加 2. 横ばい 3. 減少

質問は以上です。 ご協力どうもありがとうございました。